

検査2 国語 解答例

(令和5年3月実施)

										二			一		
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	オ	ウ	ア			
経験	言い表せることを理解すること。 性を見出した物体は、同一の名前で	ある名前で呼ばれた物体と共通	私は弟の発表会に妹と行く。	物には名前がある ということ。	ア	イ	見えているものの中から決定すること。 リンゴという名前が呼ばれるものを	言語は、本能だ	三	営	よくよう	かんき			
										むカ	エ	イ			
										資源	混雑	いとむ			

四								三					
5	4	3	2	1	8	7	6	5	4	3	2	1	
イ	ウ	歌管	かげあり	エ	肯定的に捉えられるようになった。 いが香山とのやり取りを通して、自分を	香山	あきなりでつまらないことではない、ということ。 積極的に関わろうと行動することは、	眉の間にしわをつくる こと。	B	A	(2)	(1)	A
									考えや気持ちに気づくこと	完全に正しくわかること	普通であること、梨木が悩む理由	納得できない気持ち	短所 B 長所

五

選んだ番号 ①

る	力	を	を	町	は	が	行	う	A
こ	が	発	使	の	生	小	多	う	共
と	必	見	い	良	徒	さ	く	物	通
を	要	す	た	さ	会	な	事	の	点
表	に	る	い	を	が	規	範	の	が
わ	な	に	。	発	中	模	団	規	あ
ず	る	は	自	信	心	で	が	模	る
に	。	分	す	と	行	広	に	と	物
は	多	地	た	る	な	う	い	違	思
A	く	域	ち	活	場	場	い	う	を
が	の	に	が	動	て	合	合	が	。
ふ	人	暮	気	を	、	に	に	あ	A
さ	が	ら	づ	す	自	使	使	り	と
わ	関	す	い	る	分	う	う	、	B
し	わ	多	て	と	た	印	の	A	を
い	る	く	い	き	ち	象	に	は	比
か	活	の	な	に	が	対	関	較	画
ら	動	人	い	は	暮	あ	し	わ	す
だ	て	の	魅	、	ら	る	、	る	と
。	あ	協	力	A	す	B	人	と	い

(220字) (180字) (20字×11行)

